

日時：令和3年6月10日(木)までに意見聴取

場所：書面による開催

参加者：

＜協議会委員＞（敬称略）

大阪府立大学 大学院人間社会システム科学研究科 教授	伊井 直比呂
本校PTA会長	高山 晃彦
本校同窓会会長	南 登章生
泉佐野商工会議所 専務理事	上野 公義
大阪大学大学院 人間科学研究科附属未来共創センター 特任教授	榎井 縁
泉佐野市立佐野中学校 学校長	古谷 秋雄

＜事務局＞

校長	南部 潔
教頭	藤原 和美
事務長	佃 計司
首席兼学習進路指導部長	宮前 恵己
首席兼総務生徒指導部長	慈幸 正晃

送付資料：

1. 令和2年度 学校評価
2. 令和2年度 第3回学校運営協議会 議事録（案）
3. 令和3年度 学校経営計画（案）
4. 令和3年度 佐野マネジメントシート
5. ご意見聴取用FAX

意見聴取内容：

意見：◇これまでの佐野高校が大切にされてきた、「希望する進路実現」、「パーソナルベスト」等の学習者（生徒）の主体性を力強く生み出すような、また心の支えとなるようなご指導がありました。これらのご指導と、導入されようとしているパフォーマンス評価などをどのように組み合わせて生徒の意欲をより一層活性化されようとしておられるか、などについて教えていただきたいと思っています。

- 来年度から本格導入される観点別学習状況評価とともにパフォーマンス評価について検討および試行を実施しているところです。次回の学校運営協議会にて進捗状況を報告させていただきます。

意見：◇コロナ禍の中で、生徒さんも教職員の方々も大変な思いをされていることと思いますが、学校経営計画をしっかりと遂行していくことで、安心できる地域づくり、子どもの育成に貢献していただきたいと望みます。

- 学校経営計画を着実に実行してまいります。

意見：◇令和2年度と令和3年度の目標などがあまりにも変化がないのが気になります。同校長でもあり、2、3年ですから大きな改革はないのですが、同窓会として気がかりな募集に関する取り組みの対策などについて、より具体的な方策が必要ではないかと感じています。

昨年度からの在校生の母校訪問をより推進するなど。

全員で広報体制をさらに強化するとは、具体的にまた時期をどうするのか。

在校生メッセージを母校へ届けるなどの数値目標も。

- 広報の充実については、学校ホームページの刷新、学校説明動画の学校ホームページへの掲載、ブログの更新頻度の向上などに努めております。また、6月には近隣市町村のすべての中学校を訪問し、学校説明をさせていただきました。また、一人でも多くの在校生メッセージを届けるべく、準備を

進めております。

意見：◇コロナ禍の中で、佐野高校の売るべき国際教育のあり方について、より具体的な方策を本校独自考えねばならないのではないかと感じています。例えば、「新しい国際交流を实践する」とはどのような内容になるのかなど、具体的に。

- 昨年度に引き続き、オンラインによる国際交流を予定しております。また、留学生との交流も企画中となっております。新たなネットワークによる国際交流を確実に実践するよう努めてまいります。

意見：◇令和3年度取り組み内容及び自己評価について、令和2年度の達成率や数値からすると、5～10ポイントアップが良いのではないかと思うが、低い設定である。

- 設定した目標を大幅に超えて達成できるよう、教職員が一丸となって取り組んでまいります。

意見：◇総合的な探究の時間などで、再構築とはどうするのか。具体的な方策が必要であると感じる。

- 令和3年度入学生のカリキュラムより、総合的な探究の時間の名称をLINCと改め、高校3年間を通じたSDG sに関連する課題研究を実施することとしました。JICAやフリードチルドレンから外部講師を招請し、SDG sについて、また、その目標を達成するための実践について学んでおります。これらの学びに基づいて、生徒が定めたテーマについて研究を行って参ります。3年次における研究論文作成にむけて、学びを深めていく予定です。

意見：◇キャリアパスポートの活用について、様式は確定していないのか。昨年度末での改定様式が実践されるべきではないか。

- ご指摘のとおり、昨年度末に様式を確定し、今年度4月より取り組んでおるところです。

意見：◇生徒の希望を叶える学校づくりで、保護者からの情報受領を、より促進・強化する必要性を感じる。

◇空港のあるまちの高校教育の一環で、GTECの全員受験や英検等の受験をされる事で、これから国際都市をめざす地元の高校の人材育成や教育は素晴らしいものがあります。

◇進路希望達成率を第2希望も含めて年々上昇され本年度も85%以上の進路達成を目標にされています。先生方のやる気と生徒の頑張りを感じられ、素晴らしく思います。

◇ユネスコスクールとして国際交流・地域交流そして社会貢献を推進され、グローバルな視野で日本だけでなく海外でも活躍できる人材を育成されることが、非常に頼もしく感じます。

◎令和3年度学校教育計画が承認される。